

| | | |
|------|----------|--------------------|
| 主な施策 | 県の取り組み方針 | 県の具体的な施策（H21～23年度） |
|------|----------|--------------------|

**【施策Ⅰ】
地域の特性や魅力
を生かした観光地
づくり**

【方向性】

- ・観光ニーズの変化への対応
- ・テーマ型、参加・体験型観光など、地域の特性や魅力を生かした観光地づくり
- ・着地型観光商品の開発と販路開拓
- ・各地域における観光戦略の構築

【目標】

着地型旅行
取扱い数

20 → 50

1. 地域の魅力再発見・掘り起こし
 - ①地域の特性を活かした観光の魅力づくりを促進（出雲、石見、隠岐）
 - ②担い手や、組織の育成を促進し、観光産業全体の底上げを図る。
 - ③外部視点を導入し参考とする。
 - ④観光戦略の構築・実施・見直し（P・D・C・A）
 - ・地域の特性にあった観光資源を活かした取り組みを推進するための計画策定～見直し
 - ⑤着地型旅行の商品化と販路開拓の促進
 - ・観光がビジネスとして成り立つよう民間事業者等の自立を促進し観光を地域の産業振興策として最大限に活用し、地域の活性化を図る。
 - ⑥テーマ型、参加・体験型観光の推進
 - ・地域とのふれあい・交流等を通じた新しいメニュー開発を促進する。
2. 世界遺産「石見銀山」を核とした観光の推進
 - ・石見銀山魅力の情報発信と旅行者の利便性の向上を図る。
 - ・周辺観光地や他県との連携による付加価値の向上を図る。
3. 修学・教育旅行の誘致・促進
 - ・地域の特性を活かした教育プログラム作成の促進及び情報の提供する。

1. 地域の魅力再発見・掘り起こし
 - ①地域資源を観光面で活用する取り組みの促進
 - 1) NPO法人や観光関係事業者等が地域資源を観光面で活用しようとする場合の課題分析や実証の取り組み（モニターツアー等）に対して支援する。
… 着地型観光商品造成支援事業 [H21～]
 - 2) 出雲、石見、隠岐各圏域ごとの観光振興体制の強化・支援を行う。
… 県地方機関間との連携強化、国・県の助成制度の活用
 - ②人材育成の支援
 - 地域の魅力を観光に活かそうとする団体等に対して人材育成や組織づくりのための支援を行う。
… 着地型観光商品造成支援事業 [H21～]（再掲）
… ふるさと雇用再生特別基金事業の活用 [H21～]
 - ③外部視点の導入
 - 観光分野の専門家による助言、提言を受ける機会や関係者間の意見交換の場を設ける。
… 観光戦略アドバイザーの設置 [H19～]
 - ④観光戦略の策定、策定の促進
 - 1) 観光アクションプランを策定し、観光立県実現に向けた取組みを推進する。[H21～]
 - 2) 県内各市町村においても計画が策定されるよう関係機関に働きかける。[H21～]
 - ⑤着地型旅行の商品化と販路開拓の促進
 - 1) 地域の観光事業者やNPO法人等が旅行商品の開発から販路開拓を行う際に助成する。
… 着地型観光商品造成支援事業 [H21～]（再掲）
… 観光戦略アドバイザー、県、観光連盟によるアドバイス [H19～]
 - 2) 地元発の旅行商品を総合的・広域的に取り扱うシステムづくりを支援する。
… 山陰文化観光圏整備事業の申請（オペレーションデスク） [H21～]
 - 3) 各地域が主体となった広域観光推進組織への助成
… 広域観光商品開発支援事業による助成 [H16～]
 - ⑥テーマ型、参加・体験型観光の推進
 - 1) 大都市圏と現地体験メニューを組み合わせた旅行企画等を支援、実施する。
・出雲路（出雲大社の遷宮）、石見路（神楽の魅力）講座の開催 [H18～]
 - 2) NPO等が実施する地域資源を活かした協働事業の実施
・「しまね協働実践事業」への申請、採択の場合の協働実施 [H21～]
2. 世界遺産「石見銀山」に対する理解度向上、広域連携の推進
 - ①観光客への銀山に対する理解を深める。
・銀山定時ガイドの設置 [H20～]
 - ②地域間連携による銀山を活用した魅力向上対策を実施する。
・石見観光振興協議会による銀山との連携観光ルートの構築 [H20～]
 - ③原爆ドーム、厳島神社、中国地方の3つの世界遺産を広くPRする。[H20～]
3. 修学プログラム・教育旅行の誘致・促進
 - 教育旅行主催会社や学校への働きかけや県ホームページ等を通じたPRの実施。

主な施策

【施策Ⅱ】 情報発信・誘客宣 伝活動の強化

【方向性】

・各種媒体を通じた
情報発信や誘客
宣伝活動の強化

【目標】

観光HPアクセス数
67万件 →
140万件/年

【施策Ⅲ】 外国人観光客の 誘致推進

【方向性】

・外国人観光客誘致
の推進と受け入れ
体制の充実

【目標】

外国人観光客宿泊数
33千人 →
55千人/年

県の取り組み方針

1. 大都市圏を中心とした県外向けの情報発信強化
2. インターネット等を活用した情報発信の強化
3. 隣県、民間事業者と連携したPRの実施
4. その他の媒体等を通じた誘客活動の推進
 - ・自動車道利用者への誘客活動の強化
 - ・パンフ、ポスターの作成
 - ・コンベンション誘致との連携
 - ・出雲大社大遷宮を活用した情報発信 等

1. 国、隣県、関係機関等との連携による外国人観光客の誘致促進
 - ・VJC(ビジットジャパンキャンペーン)事業や、隣県等との連携により島根、中国、山陰地域への観光客誘致の促進
2. インターネット、パンフ等による情報発信
 - ・外国人に最新の情報が届くようインターネット等を活用した情報発信を実施
3. 外国人観光客の受け入れ体制の充実
 - ・外国人観光客が快適に滞在・観光出来る観光地づくりの推進

県の具体的な施策（H21～23年度）

1. 大都市圏を中心とした県外向けの情報発信の強化

- ① 新聞、雑誌、テレビなど各種媒体の特性にあった訴求効果の高い情報発信
・首都圏、関西圏、広島向け情報発信機能の強化 [H21～]
- ② 県外事務所との連携によるPR活動 等
- ③ 連盟職員の専門性を活用したプロモーション活動や誘客促進キャンペーンの実施

2. インターネット等を活用した情報発信の強化

- ① ロコサイトの開設による情報提供 [H20～]
- ② 「島根観光ナビ」の充実 [H21～]
- ③ インターネットポータルサイト活用プロモーション [H21～]
 - ・食、ロコミ、旅等の各種ポータルサイトの活用

3. 隣県、民間事業者と連携した広域的なPRの実施

- ・広域モデルルート集の作成・配布
- ・中国5県共同の旅行会社招致活動の実施 [H18～]
- ・二次交通ガイドブックの作成(山陰文化観光圏)[H21～]

4. その他の媒体等を通じた誘客活動の推進

- ① 自動車利用者の誘客や、レンタカー利用者への宣伝を強化 [H21～]
- ② 需要の多いパンフやポスターの作成
- ③ コンベンション誘致との連携を強化し、アフターコンベンションの充実に努める。
- ④ 出雲大社大遷宮を活用した情報発信・誘客の強化 [H21～]
- ⑤ クルーズ客船受け入れの促進強化 [H21～]

1. 国、隣県、関係機関等との連携による外国人観光客の誘致推進

- 台湾、韓国、中国、欧米をターゲットに、国、中国5県、鳥取県、民間団体等との広域連携による海外旅行会社、マスコミ等の視察受け入れや商談会の開催
- ・海外マスコミ、旅行会社の招請
- ・国際観光ビジネスフォーラムの島根開催 [H21]
- ・「山陰国際観光協議会」や「しまね国際観光推進協議会」事業の実施
- ・境港や浜田港へのクルーズ船や、台湾富裕層[H20～]の誘致

2. インターネット、パンフを活用した外国人向けの情報発信

- ・「しまね観光ナビ」の拡充 [H21～]や、観光パンフにより多言語(当面4ヶ国語)で情報発信する。

3. 外国人受け入れ体制の充実

- ① 外国人観光客向けパンフ、飲食メニューの作成(H21～)及び専用スタンドの設置
- ② 施設割引制度の導入
- ③ 中国地域総合案内所設置の検討
- ④ 交通機関や観光案内標識等の外国語標記の促進 [H21～]
- ⑤ 宿泊施設等を対象としたおもてなし研修の実施 [H21～]

主な施策

【施策Ⅳ】 広域観光の推進

【方向性】

・国、隣県、民間事業者、地域間等との連携推進

【施策Ⅴ】 おもてなし気運の向上・受け入れ体制の整備

【方向性】

・観光事業者・県民のおもてなし気運醸成
・着地情報の充実
・観光施設の快適化の向上

【目標】

観光客の不満足度
6% → 3%

県の取り組み方針

1. 国や中国5県、山陰、県内連携による観光客誘致の推進
 - ・山陰文化観光圏整備事業の推進
 - ・中国5県連携による外国人観光客誘致(再掲)
2. 地域間連携の推進
 - ・県内各地域の広域連携組織の支援

1. 観光の担い手の育成
 - ・ガイド等の形態に応じたPR
2. 観光事業者、県民のおもてなしの心の醸成
 - ・外国人観光客をおもてなし研修や、観光施設おもてなしスキルアップ研修への支援
3. 受け入れ体制(観光基盤)の整備
 - ・来県後の観光情報の充実やトイレ整備などによるホスピタリティの向上

県の具体的な施策 (H21~23年度)

1. 国や中国5県、山陰、県内連携による観光客誘致の推進
 - ① 国の広域観光圏指定による取り組みの推進
 - ・山陰文化観光圏協会による隠岐を含めた島根・鳥取両県連携の推進 [H20~]
 - ② VJC事業、「山陰国際観光協会」「松江・出雲国際観光テーマ地区推進協議会」などによる外国人観光客誘致の推進
 - ③ 中国5県、JRとの連携による域内交流人口増の推進
2. 地域間連携の推進
 - ① 県内各地域の広域連携の推進
「神話の国・縁結び観光協会」「石見観光振興協議会」や「隠岐観光連絡協議会」等による事業の推進
 - ② 県、市町村、民間の広域連携による「広島地区情報発信事業」の実施

1. 観光の担い手の育成
 - ① 観光ガイド等の県外向けのPR
 - ② 利用形態や実態の把握
2. 観光事業者、県民一人ひとりのおもてなし気運の醸成
 - ① 観光施設おもてなしスキルアップ研修への支援 [H21~]
 - ② 食を活用したおもてなしセミナーの開催 [H20~]
 - ③ 外国人観光客を対象としたおもてなし研修の実施 [H21~]
3. 受け入れ体制(着地情報・案内体制)の整備・充実
 - ① バリアフリーマップ等の作成支援 [H20~]
 - ② 県内の観光案内板等の改修・新設及びトイレ改修等への助成 [H21~]
 - ③ ふるさと雇用再生特別基金事業による案内体制の強化(再掲)
(出雲空港コンシェルジュ、隠岐ツアーセンター案内体制の強化) [H21~]

※ 下線部は、H21年度からの新規事業